



2025年12月期 決算短信〔I F R S〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社ジーエヌアイグループ
 コード番号 2160 URL <https://www.gnipharma.com>
 代表者 (役職名) 取締役代表執行役社長兼CEO (氏名) イン・ルオ
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役副社長COO兼CFO (氏名) 松井 亮介 (TEL) 03-6214-3600
 定時株主総会開催予定日 2026年3月26日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2026年3月27日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期の連結業績 (2025年1月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		当期包括利益合計額	
2025年12月期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	26,840	13.7	△3,483	—	△4,646	—	△7,318	—	△4,411	—	△6,494	—

	基本的1株当たり当期利益	希薄化後1株当たり当期利益	親会社所有者帰属持分当期利益率	資産合計税引前利益率	売上収益営業利益率
2025年12月期	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年12月期	△84.09	△84.09	△10.2	△6.0	△13.0

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率	1株当たり親会社所有者帰属持分
2025年12月期	百万円		百万円		百万円	%	円 銭
2024年12月期	83,791		51,675		50,152	59.9	900.92

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
2025年12月期	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年12月期	△2,408	△536	13,738	21,101

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	親会社所有者帰属持分比率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2024年12月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年12月期	—	—	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2026年12月期の連結業績予想 (2026年1月1日～2026年12月31日)

当社の業績予想は、製薬及び創薬事業（医薬品事業）における現時点で合理的な業績予想の算定が困難であるため、2026年12月期の連結業績予想は記載しておりません。詳細は、添付資料「1. 経営成績等の概況（5）今後の見通し」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) 株式会社ZOO LABO

除外 1社 (社名) ガバナンス・パートナーズASIA投資事業有限責任組合

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年12月期	55,682,069株	2024年12月期	50,168,243株
2025年12月期	13,643株	2024年12月期	13,550株
2025年12月期	52,464,827株	2024年12月期	50,007,923株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は、本資料発表日現在における入手可能な情報及び将来の業績予想に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料「1. 経営成績等の概況（5）今後の見通し」をご参照ください。

(金額の表示単位の変更について)

当社の連結財務諸表に表示される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で表示しておりましたが、当連結会計年度より百万円単位での表示に変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度につきましても、百万円単位に組替え表示しております。

※ 対前期(対前年同四半期)増減率につきまして、当期(当四半期)・前期(前年同四半期)の一方もしくは両方がマイナスとなる場合や、増減率が1,000%以上となる場合は「-」を記載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 研究開発活動	5
(5) 今後の見通し	6
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結財政状態計算書	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
(3) 連結持分変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(作成の基礎)	14
(セグメント情報)	15
(1株当たり利益)	18
(重要な後発事象)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する分析

2025年の世界経済は、米国の関税政策による貿易環境への影響や、紛争の長期化など、地政学リスクの高まりを背景に、景気の先行きに対する不透明感が強まる一年となりました。我が国においては、物価上昇が継続する中、賃金の上昇や観光需要の回復を背景に、景気は緩やかな持ち直しが見られました。一方で、家計負担の軽減および持続的な経済成長の実現が引き続き課題となっております。当社が属するバイオテクノロジーセクター及び東証グロース市場につきましては、日本の政策金利の引き上げなどの影響により、軟調な推移となりました。このような環境下、株式会社ジーエヌアイグループ（以下「当社」）及びその関係会社（以下合わせて「当社グループ」）の経営状況は、以下のようなものでありました。

製薬及び創薬事業（医薬品事業）におきまして、当社グループの主要子会社であるGyre Pharmaceuticals Co., Ltd.（北京コンチネント）（以下「GYRE Pharmaceuticals」）の研究開発は、次期製品の有力な候補である慢性B型肝炎起因の肝線維症を適応としたF351の第3相臨床試験を2024年10月に中国にて完了し、2025年5月に第3相臨床試験の結果を発表いたしました。新薬承認申請（NDA）につきましては、中国国家薬品監督管理局（NMPA）の医薬品評価センター（CDE）との間で、事前協議（Pre-NDA Meeting）を完了し、2026年の上半期に条件付き承認制度を活用したNDAの申請を目指しております。並行して、米国NASDAQ市場に上場する当社子会社のGyre Therapeutics, Inc.（以下「GYRE」）は、MASH（代謝機能障害関連脂肪肝炎）関連肝線維化を適応症とするF351の第2相臨床試験を米国で開始するため、中国で実施した第2相・第3相臨床試験データの翻訳及び規制当局水準での品質審査、ならびに今後実施予定の肝機能障害試験を基に、IND申請を2026年に見込んでおります。製薬事業（医薬品事業）の当連結会計年度の売上はEtorel®（ニンテダニブエシル酸塩ソフトカプセル）の発売遅延及び集中購買の影響があったものの、アイスアーリュイの売上が過去最高を記録し前連結会計年度を上回り17,314百万円（前連結会計年度比9.3%増）となりました。

2024年11月、米国及び中国を中心に革新的な新薬の研究開発を行っている米国子会社Cullgen Inc.（以下「Cullgen」）は、リバースマージャーによって米国NASDAQ市場の上場会社となることを発表いたしました。上場した際には、GYREに続く2社目となります。

Cullgenは独自の標的タンパク質分解誘導技術プラットフォーム uSMITE™（ubiquitin-mediated, small molecule induced target elimination）を活用した創薬に引き続き邁進しております。アステラス製薬株式会社（以下「アステラス製薬」）と革新的なタンパク質分解誘導剤創出に向けた共同研究及びオプション契約を締結しており、本戦略的提携におけるアステラス製薬との共同研究を進めております。

同社初のTRK分解剤の抗がん剤候補としてCG001419（開発コード）の第1／2相臨床試験を中国にて進めており、容量拡大パートの被験者登録は2026年第1四半期に開始される見込みです。また、追加の適応症として急性及び慢性疼痛を対象とした第1相臨床試験を2025年12月にオーストラリアにて完了しました。2026年上半期に米国で外反母趾切除術による急性疼痛を対象とした第2相臨床試験を開始する予定です。また、中国及び米国で開発を進めている悪性血液腫瘍（白血病）治療薬であるCG009301（開発コード）の第1相臨床試験を2025年4月より開始しております。他の複数のプログラムにつきましても、臨床試験開始を目指して研究開発を進めております。

メドテック（生体材料）事業（医療機器事業）に関しまして、Berkeley Advanced Biomaterials LLC（以下「BAB」）とBerkeley Biologics LLC（以下「BB」）を中心とするBBは皮膚由来製品であるAccelodermや骨由来製品であるD-fiber等の製品開発を行うとともに胎盤由来製品の大口受注により、当連結会計年度の売上は7,584百万円（前連結会計年度比46.2%増）、営業利益は1,288百万円（前連結会計年度比36.7%増）と予算を上回り過去最高となりました。また、2025年12月に株式会社ZOO LABO（以下「ZOO LABO」）の買収を発表し、2026年度より日本の事業としてメドテック事業に組み入れられます。

①セグメント別の経営成績

医薬品事業

当連結会計年度の医薬品事業セグメントの売上収益とセグメント損失は、それぞれ19,158百万円（前連結会計年度比4.7%増）、4,014百万円（前連結会計年度は371百万円のセグメント利益）となりました。医薬品事業セグメントの売上収益の増加は、GYRE Pharmaceuticalsの主力製品であるアイスアーリュイの中国市場での売上収益が過去最高を記録したためです。一方のセグメント利益の大幅な減少は、株式報酬費用の増加及び下記に記載しております前連結会計年度におけるGNI USA, Inc.（以下「GNI USA」）との関係会社長期貸付金精算に伴う為替換算差額累積額の戻入益の配分によるものです。

医療機器事業

医療機器事業セグメントの売上収益とセグメント利益は、それぞれ7,681百万円（前連結会計年度比44.7%増）、530百万円（前連結会計年度比48.6%減）となりました。医療機器事業セグメントの売上収益の増加は、BBの売上収益が好調に推移したためです。一方のセグメント利益の減少は、主に下記に記載しております前連結会計年度におけるGNI USAとの関係会社長期貸付金精算に伴う為替換算差額累積額の戻入益の配分によるものです。当該配分額の影響を除くと、医療機器事業自体のセグメント利益は順調な伸長となりました。

前連結会計年度におけるGNI USAとの間の関係会社長期貸付金に係るその他の収益の計上

GNI USAとの間の関係会社長期貸付金精算に伴う為替換算差額累積額の戻入益1,622百万円（2024年1月18日適時開示しております。）について、下記の通り医薬品事業及び医療機器事業への売上収益に基づく配分を行っております。

医薬品事業 : 1,262百万円

医療機器事業 : 360百万円

合計 : 1,622百万円

②販売費及び一般管理費ならびに研究開発費

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	差額
販売費及び一般管理費	△15,771	△19,002	△3,230
人件費	△5,074	△7,693	△2,618
研究開発費	△2,811	△3,298	△486

販売費及び一般管理費

当連結会計年度の販売費及び一般管理費は、19,002百万円（前連結会計年度比20.5%増）となりました。この販売費及び一般管理費の増加は、主に株式報酬費用の増加によるものです。

研究開発費

当連結会計年度の研究開発費は、主にCullgenにおける臨床試験前と臨床試験の進展により、3,298百万円（前連結会計年度比17.3%増）となりました。

③金融収益及び金融費用

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	差額
金融収益	707	578	△128
金融費用	△1,880	△1,750	129

金融収益

当連結会計年度の金融収益は、578百万円（前連結会計年度比18.2%減）となりました。この金融収益の減少は、主に受取利息の減少によるものです。

金融費用

当連結会計年度の金融費用は、1,750百万円（前連結会計年度比6.9%減）となりました。この金融費用の減少は、主に為替差損の減少によるものです。

(2) 当期の財政状態の概況

連結財政状態

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	差額
資産合計	71,942	83,791	11,848
負債合計	32,229	32,116	△112
資本合計	39,713	51,675	11,961

資産合計

当連結会計年度末における資産合計は、83,791百万円（前連結会計年度比16.5%増）となりました。この資産の増加は、主に新株の発行による現金及び現金同等物の増加によるものです。

負債合計

当連結会計年度末における負債合計は、32,116百万円（前連結会計年度比0.3%減）となりました。この負債の減少は、主に短期借入金の減少によるものです。

資本合計

当連結会計年度末における資本合計は、51,675百万円（前連結会計年度比30.1%増）となりました。この資本の増加は、主に新株の発行による資本金及び資本剰余金の増加によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

連結キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	差額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,164	△2,408	756
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,361	△536	9,824
財務活動によるキャッシュ・フロー	694	13,738	13,043

営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローは、2,408百万円の支出（前連結会計年度は、3,164百万円の支出）となりました。これは主に、法人所得税の支払額の減少によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度の投資活動によるキャッシュ・フローは、536百万円の支出（前連結会計年度は、10,361百万円の支出）となりました。これは主に、有価証券の取得による支出の減少によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度の財務活動によるキャッシュ・フローは、13,738百万円の収入（前連結会計年度は、694百万円の収入）となりました。これは主に、新株の発行による収入によるものです。

(4) 研究開発活動

〔研究活動〕

当社グループの創薬研究では、Cullgenを中心に革新的な新規開発候補化合物（NCE）の開発を目指しております。Cullgenは、がん、疼痛、及び自己免疫疾患に対する酵素及び非酵素タンパク質を標的とした複数の新規化合物を含む創薬パイプラインの拡充のための研究開発を進めております。

2023年6月に、Cullgenはアステラス製薬と、革新的なタンパク質分解誘導剤創出に向けた共同研究及び独占的オプション契約を締結いたしました。本戦略的提携において、両社は新規E3リガンドを活用したCullgen独自の技術プラットフォームuSMITE™とアステラス製薬の創薬及び商業化能力を融合し、複数の標的タンパク質分解誘導剤の創出を目指します。Cullgenとアステラス製薬は臨床開発対象の化合物を見出すための共同研究を行い、アステラス製薬は見出された分解剤の開発及び商業化を担います。乳がんやその他の固形がんを対象として、アステラス製薬が同定したリードプログラムである細胞周期タンパク質に対する分解誘導剤候補化合物も含むアステラス製薬との共同研究を進めております。

〔開発活動〕

■アイスーリュイ〔中国語：艾思瑞®、英語：ETUARY®（一般名：ピルフェニドン）〕－GYRE Pharmaceuticals
GYRE Pharmaceuticalsは、アイスーリュイの適応を以下の疾患に拡大する臨床試験を進めております。

- ・糖尿病腎症（DKD）：第1相完了、今後の進め方を中国当局と継続協議中
- ・結合組織疾患（CTD-ILD）を伴う間質性肺疾患（全身性硬化症（強皮症、SSc-ILD）と皮膚筋炎（DM-ILD））：第3相臨床試験継続中
- ・じん肺治療薬（Pneumoconiosis, PD）：第3相臨床試験継続中（被験者登録完了）
- ・免疫関連肺炎（CIP）の有無にかかわらない放射線誘発性肺障害（RILI）：2026年上半年にアダプティブ・デザイン第2/3相臨床試験を開始予定

■F351（一般名：ヒドロニドン）－GYRE Pharmaceuticals及びGYRE

F351は肝線維症向け治療薬候補として、当社グループの医薬品ポートフォリオにおける重要な新薬候補であり、世界の主要医薬品市場への参入に向けた戦略において非常に重要なものとなります。当社独自の見解では、F351は、ブロックバスター（一般的に年間売上高が10億ドルを超えるとされる医薬品）と期待される新薬候補です。

GYRE Pharmaceuticalsは2024年10月、中国における慢性B型肝炎に起因する肝線維症患者を対象とした第3相臨床試験を完了しました。2026年上半年に新薬承認申請（NDA）を見込んでおります。

GYREは、MASH（代謝機能障害関連脂肪肝炎）関連肝線維化を適応症とするF351の第2相臨床試験を米国で開始するため、中国で実施した第2相・第3相試験データの翻訳及び規制当局水準での品質審査、ならびに今後実施予定の肝機能障害試験を基に、IND申請を2026年に行う予定です。

■F573（急性肝不全（ALF）・慢性肝不全の急性増悪（ACLF）治療薬）－GYRE Pharmaceuticals

急性肝不全（ALF）や慢性肝不全の急性増悪（ACLF）の治療薬として、F573の第2相臨床試験を中国にて実施しております。

■F230（肺動脈性肺高血圧症治療薬）－GYRE Pharmaceuticals

F230は、肺動脈性肺高血圧症の治療薬です。2024年5月に、GYRE Pharmaceuticalsは中国においてINDの承認を受け、2025年6月に第1相臨床試験を開始いたしました。

■F528（慢性閉塞性肺疾患（COPD）治療薬）－GYRE Pharmaceuticals

F528は、複数の炎症性サイトカインを抑制する新規の抗炎症剤であり、慢性閉塞性肺疾患（COPD）の進行を軽減する可能性のある新薬候補として中国にて2026年にIND申請を予定しております。

■CG001419（TRK分解剤）－Cullgen

CG001419は、業界初の選択的かつ強力な標的タンパク質分解誘導剤を活用した経口剤として開発を進めております。2023年7月に、同社初となる第1/2相臨床試験を中国にて開始し、容量拡大パートの被験者登録は2026年第1四半期に開始される見込みです。また、2025年12月にオーストラリアにて急性及び慢性疼痛を対象とした第1相臨床試験が完了し、2026年上半年に米国で外反母趾切除術による急性疼痛を対象とした第2相臨床試験を開始する予定です。

■CG009301（悪性血液腫瘍（白血病）治療薬）－Cullgen

CG009301は、GSPT1タンパク質を標的とした新規の分解薬であり、2024年10月に国家薬品監督管理局（NMPA）によ

り INDが承認され、2025年4月に第1相臨床試験を開始いたしました。

(5) 今後の見通し

2026年度は、製薬事業および医療機器事業において、売上収益および利益の堅調な推移を見込んでおります。製薬及び創薬事業（医薬品事業）について、Cullgenは引き続き研究開発が順調に進捗することを見込んでおります。メドテック（生体材料）事業（医療機器事業）では、BABの新製品の販売開始を予定しており、増収増益の見込みです。また、2025年12月に発表したZOO LABOの買収により、2026年度より同社業績が連結業績に寄与いたします。

なお、業績予想については、製薬及び創薬事業（医薬品事業）におけるF351のNDA承認並びに上市時期のタイミング、想定薬価、Cullgenの研究開発の進捗、マイルストン収入および上場時期など、当社グループにおいてコントロール困難な要因によって大きく変動する可能性があります。このため、現時点では業績に与える影響を合理的に見積もることが困難であると判断し、業績予想の開示を控えております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は国際会計基準(IFRS)を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	5,696	5,717
使用権資産	1,559	1,784
のれん	15,994	16,648
無形資産	11,026	12,347
持分法で会計処理されている投資	386	391
繰延税金資産	2,234	348
その他の金融資産	5,764	5,738
その他の非流動資産	56	81
非流動資産合計	42,720	43,057
流動資産		
棚卸資産	2,529	3,752
営業債権及びその他の債権	6,236	8,056
その他の金融資産	9,291	6,898
その他の流動資産	1,050	924
現金及び現金同等物	10,115	21,101
流動資産合計	29,222	40,734
資産合計	71,942	83,791

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
負債及び資本		
非流動負債		
借入金	1,200	2,020
リース負債	735	992
繰延税金負債	2,171	2,033
その他の金融負債	15,454	16,825
その他の非流動負債	203	481
非流動負債合計	19,764	22,354
流動負債		
営業債務及びその他の債務	2,263	1,600
借入金	4,575	1,325
1年内返済予定の長期借入金	400	686
リース負債	295	342
未払法人所得税	2,611	3,093
その他の金融負債	0	4
その他の流動負債	2,318	2,709
流動負債合計	12,464	9,762
負債合計	32,229	32,116
資本		
資本金	13,276	19,676
資本剰余金	6,626	15,773
自己株式	△15	△15
利益剰余金	9,888	5,477
その他の資本の構成要素	6,669	9,240
親会社の所有者に帰属する持分合計	36,446	50,152
非支配持分	3,267	1,522
資本合計	39,713	51,675
資本及び負債の合計	71,942	83,791

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

①連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
売上収益	23,611	26,840
売上原価	$\triangle 5,574$	$\triangle 6,847$
売上総利益	18,037	19,993
販売費及び一般管理費	$\triangle 15,771$	$\triangle 19,002$
研究開発費	$\triangle 2,811$	$\triangle 3,298$
その他の収益	2,434	527
その他の費用	$\triangle 485$	$\triangle 1,704$
営業利益（△損失）	1,402	$\triangle 3,483$
金融収益	707	578
金融費用	$\triangle 1,880$	$\triangle 1,750$
持分法による投資利益	8	9
税引前利益（△損失）	238	$\triangle 4,646$
法人所得税費用	$\triangle 247$	$\triangle 2,671$
当期利益（△損失）	$\triangle 9$	$\triangle 7,318$
当期利益（△損失）の帰属		
親会社の所有者	1,098	$\triangle 4,411$
非支配持分	$\triangle 1,107$	$\triangle 2,906$
1株当たり当期利益（△損失）		
基本的1株当たり利益（△損失）（円）	21.96	$\triangle 84.09$
希薄化後1株当たり利益（△損失）（円）	21.15	$\triangle 84.09$

②連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
当期利益（△損失）	△9	△7,318
その他の包括利益		
純損益にその後に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	2,286	810
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	31	13
その他の包括利益合計	2,318	823
当期包括利益合計	2,309	△6,494
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	3,140	△3,958
非支配持分	△831	△2,536

(3) 連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	親会社の所有者に帰属する持分			合計
					新株予約権	在外営業活動体の換算差額	その他の資本の構成要素	
2024年1月1日残高	13,052	7,397	△15	8,790	1,503	3,065		4,569
当期利益（△損失）	—	—	—	1,098	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	2,042	2,042	
当期包括利益合計	—	—	—	1,098	—	2,042	2,042	
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	—	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	△996	—	—	—	△55	△55	
新株の発行	227	227	—	—	—	—	—	—
株式発行費用	△3	△3	—	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	—	239	—	239	
新株予約権の発行	—	—	—	—	0	—	0	
新株予約権発行費用	—	—	—	—	△4	—	△4	
新株予約権の行使	—	—	—	—	△121	—	△121	
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	224	△771	△0	—	113	△55	57	
2024年12月31日残高	13,276	6,626	△15	9,888	1,616	5,052	6,669	

	親会社の所有者に帰属する持分	非支配持分	資本合計	合計
2024年1月1日残高	33,794	2,710	36,504	
当期利益（△損失）	1,098	△1,107	△9	
その他の包括利益	2,042	276	2,318	
当期包括利益合計	3,140	△831	2,309	
連結範囲の変動	—	91	91	
支配継続子会社に対する持分変動	△1,051	1,298	246	
新株の発行	455	—	455	
株式発行費用	△6	—	△6	
株式報酬取引	239	—	239	
新株予約権の発行	0	—	0	
新株予約権発行費用	△4	—	△4	
新株予約権の行使	△121	—	△121	
自己株式の取得	△0	—	△0	
所有者との取引額合計	△489	1,389	900	
2024年12月31日残高	36,446	3,267	39,713	

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	新株予約権	在外営業活動体の換算差額	
2025年1月1日残高	13,276	6,626	△15	9,888	1,616	5,052	6,669
当期利益（△損失）	—	—	—	△4,411	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	452	452
当期包括利益合計	—	—	—	△4,411	—	452	452
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	2,696	—	—	—	—	—
新株の発行	6,558	6,558	—	—	—	—	—
株式発行費用	△159	△159	—	—	9	—	9
株式報酬取引	—	—	—	—	2,247	—	2,247
新株予約権の発行	—	—	—	—	10	—	10
新株予約権発行費用	—	—	—	—	△4	—	△4
新株予約権の行使	—	—	—	—	△70	—	△70
新株予約権の失効	—	51	—	—	△74	—	△74
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—	—
所有者との取引額合計	6,399	9,147	△0	—	2,118	—	2,118
2025年12月31日残高	19,676	15,773	△15	5,477	3,735	5,505	9,240

	親会社の所有者に帰属する持分		資本合計
	合計	非支配持分	
2025年1月1日残高	36,446	3,267	39,713
当期利益（△損失）	△4,411	△2,906	△7,318
その他の包括利益	452	370	823
当期包括利益合計	△3,958	△2,536	△6,494
連結範囲の変動	—	△80	△80
支配継続子会社に対する持分変動	2,696	871	3,567
新株の発行	13,117	—	13,117
株式発行費用	△308	—	△308
株式報酬取引	2,247	—	2,247
新株予約権の発行	10	—	10
新株予約権発行費用	△4	—	△4
新株予約権の行使	△70	—	△70
新株予約権の失効	△22	—	△22
自己株式の取得	△0	—	△0
所有者との取引額合計	17,665	790	18,456
2025年12月31日残高	50,152	1,522	51,675

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益（△損失）	238	△4,646
減価償却費及び償却費	983	1,137
営業債権及びその他の債権の増減額（△は増加）	△1,865	△1,370
営業債務及びその他の債務の増減額（△は減少）	△3	△911
棚卸資産の増減額（△は増加）	△90	△994
賞与引当金の増減額（△は減少）	17	△23
金融収益及び金融費用	752	1,169
有価証券評価損益（△は益）	△41	490
株式報酬費用	239	2,212
その他	△1,600	1,047
小計	<u>△1,370</u>	<u>△1,889</u>
利息の受取額	503	392
利息の支払額	△103	△148
法人所得税の支払額	△2,194	△763
営業活動による正味キャッシュ・フロー	<u>△3,164</u>	<u>△2,408</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額（△は増加）	△1,199	682
有価証券の取得による支出	△4,066	△83
有価証券の売却による収入	—	83
有形固定資産の取得による支出	△522	△334
有形固定資産の売却による収入	1	0
無形資産の取得による支出	△1,013	△1,223
差入保証金・敷金の増加による支出	△2,066	△6
差入保証金・敷金の減少による収入	18	1,540
貸付金の回収による収入	—	6
投資有価証券の取得による支出	△1,703	—
投資有価証券の売却による収入	190	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,201
投資活動による正味キャッシュ・フロー	<u>△10,361</u>	<u>△536</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	3,275	△3,250
長期借入れによる収入	—	1,456
長期借入金の返済による支出	△400	△400
株式の発行による収入	—	12,592
新株予約権の行使による株式の発行による収入	727	849
新株予約権の発行による収入	0	10
非支配持分からの払込による収入	741	3,270
非支配持分からの子会社持分取得による支出	△3,269	—
株式の発行費用の支出	—	△453
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース負債の返済による支出	△381	△336
財務活動による正味キャッシュ・フロー	<u>694</u>	<u>13,738</u>
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,313	193
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△11,517	10,986
現金及び現金同等物の期首残高	21,633	10,115
現金及び現金同等物の期末残高	<u>10,115</u>	<u>21,101</u>

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(作成の基礎)

(1) IFRSに準拠している旨の事項

当社グループの連結財務諸表は、国際会計基準審議会によって公表されたIFRSに準拠して作成しております。

当社グループは、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和51年大蔵省令第28号）第1条の2に掲げる「指定国際会計基準特定会社」の要件を満たしていることから、同第312条の規定を適用しております。

(2) 機能通貨及び表示通貨

当社グループの連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、創薬及び製造販売事業である医薬品事業及び、医療機器事業を展開しております。医薬品事業では、医薬品の研究開発、製造、販売及び研究受託等を行っており、医療機器事業では、生体材料を含む医療機器の研究開発、製造及び販売を行っております。

各報告セグメントの主要な製品及びサービスは以下のとおりです。

報告セグメント	主要な製品及びサービス
医薬品事業	ETUARY®、Etorel®、Contiva®、医薬品受託開発、その他医薬品、試薬
医療機器事業	生体材料、医療機器選任製造販売業者及び治験国内管理人サービス

(2) 収益及び業績

当社グループの報告セグメント情報は以下のとおりです。

前連結会計年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			連結
	医薬品事業	医療機器事業	合計	
売上収益				
外部顧客への売上収益	18,303	5,307	23,611	23,611
計	18,303	5,307	23,611	23,611
セグメント利益	371	1,031	1,402	1,402
		金融収益	707	
		金融費用	△1,880	
		持分法による投資利益	8	
		税引前利益	238	

(注) セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益（△損失）を用いております。

(単位：百万円)

	報告セグメント			連結
	医薬品事業	医療機器事業	合計	
減価償却費及び償却費	637	346	983	983

当連結会計年度（自 2025年1月1日 至 2025年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			連結
	医薬品事業	医療機器事業	合計	
売上収益				
外部顧客への売上収益	19,158	7,681	26,840	26,840
計	19,158	7,681	26,840	26,840
セグメント利益（△損失）	△4,014	530	△3,483	△3,483
			金融収益	578
			金融費用	△1,750
			持分法による投資利益	9
			税引前利益（△損失）	△4,646

(注) セグメント利益（△損失）は、連結損益計算書の営業利益（△損失）を用いております。

(単位：百万円)

	報告セグメント			連結
	医薬品事業	医療機器事業	合計	
減価償却費及び償却費	816	321	1,137	1,137

(3) 製品及びサービスに関する情報

製品及びサービスにつきましての外部顧客からの売上収益は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
アイスーリュイ	15,738	15,792
生体材料	5,169	7,568
その他	2,704	3,478
合計	23,611	26,840

(4) 地域別に関する情報

前連結会計年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

(単位：百万円)

	日本	中国	米国	連結
外部顧客からの売上収益（注1）	1,462	17,098	5,049	23,611
非流動資産（2024年12月末）（注2）	423	9,432	24,477	34,334

(注1) 顧客の所在地に基づいて測定しております。

(注2) その他の金融資産、繰延税金資産、持分法で会計処理されている投資は含まれておりません。

当連結会計年度（自 2025年1月1日 至 2025年12月31日）

(単位：百万円)

	日本	中国	米国	連結
外部顧客からの売上収益（注1）	808	18,504	7,527	26,840
非流動資産（2025年12月末）（注2）	1,398	10,663	24,517	36,579

(注1) 顧客の所在地に基づいて測定しております。

(注2) その他の金融資産、繰延税金資産、持分法で会計処理されている投資は含まれておりません。

(5) 主要な顧客に関する情報

前連結会計年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上収益	関連するセグメント名
Sinopharm	5,105	医薬品事業
China Resources Pharmaceutical	1,616	医薬品事業
Astellas Pharma Inc.	1,438	医薬品事業
Stryker Spine	819	医療機器事業
Huadong Medicine Co., Ltd.	747	医薬品事業

当連結会計年度（自 2025年1月1日 至 2025年12月31日）

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上収益	関連するセグメント名
Sinopharm	6,744	医薬品事業
New Horizon Medical	3,319	医療機器事業
China Resources Pharmaceutical	1,697	医薬品事業
Shanghai Pharma	870	医薬品事業
Astellas Pharma Inc.	787	医薬品事業

(1 株当たり利益)

基本的 1 株当たり当期利益及び希薄化後 1 株当たり当期利益の算定上の基礎は以下のとおりです。

(1) 基本的 1 株当たり当期利益

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
親会社の所有者に帰属する当期利益（△損失）（百万円）	1,098	△4,411
発行済普通株式の期中平均株式数（株）	50,007,923	52,464,827
基本的 1 株当たり当期利益（△損失）（円）	21.96	△84.09

(2) 希薄化後 1 株当たり当期利益

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
親会社の所有者に帰属する当期利益（△損失）（百万円）	1,098	△4,411
発行済普通株式の期中平均株式数（株）	50,007,923	52,464,827
希薄化効果の影響調整：		
ストック・オプション（株）	1,914,392	—
希薄化効果後期中平均株式数（株）	51,922,315	52,464,827
希薄化後 1 株当たり当期利益（△損失）（円）	21.15	△84.09

(注) 当連結会計年度における希薄化後 1 株当たり当期利益（△損失）について、ストック・オプションの行使に伴う潜在株式が1,927,353株ありますが、逆希薄化効果を有するため、希薄化後 1 株当たり当期利益（△損失）の計算から除外しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。